

今日の力

ニューメキシコ州 ポーテイルス

9月30日(火)

神のよう生きる

聖書朗読 マタイ 21:18～22

あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さないことがありますでしょう。
ルカ 11:13

「祈ることは何でも、もしあなたに信仰があれば、受け取るのです」ということは、決して無制限の約束ではないのです。例えば、神様は私の腕を鳥の羽のようにして、私が飛べるようにすることもお出来になるお方です。しかし、私は神様があえてそうされないことを知っています。神様はその力があるのに、それは、神様の御計画ではないからなのです。

神様は、私たちに神様のようになるようにと教えられます。これは、キリストを信じる者の行動にとっても必要な教えです。しかし、完璧ではない私たち人間が、神様のようになるということは、明らかに不可能なことです。私たちは、私たちが知っていることをすることさえもほとんどしないのです。しかし、そこに恵みの素晴らしさがあるのです。そのような大きな努力を呼びかける神様は、私たちが自力ではなれないお方なのです。神様は、私たちに聖霊を与えてくださっています。それは、私たちが祈る時に働かれるのです(ルカ 11:13)。

祈りは、神様の素晴らしい恵みの一つです。だから、私たちはキリスト者として成長したい時、誘惑と闘いたい時、人生の難しさに立ち向かう時に、神様により頼むことが出来るのです。私たちは、神様が望まれた者となることが出来るように、心の中で、神様に力を与えてくださるように祈り求めます。

決して私たち自らのためではなく、神様の栄光のために、自分勝手に祈りを用いることは簡単です。なぜなら、その賜物は与えられているからです。しかし、それを変えられる素晴らしいものは、私たちの人生を変えることが出来るのです。

讃美歌 499

祈り お父様。どうか、あなたの栄光のために生きるということの意味を教えてください。そして、それを実行できる者となるように、私たちを変えてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

トニー・アッシュ
テキサス州 アビリン

10月1日(水)

思いをこめて

聖書朗読 マタイ 26:6～13

さて、ピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、イエスは弟子たちに尋ねて言われた。「人々は人の子をだれだと言っていますか。」
マタイ 16:13

イエス様は高価な香油を受け取りました。そして、それを主の頭に油を注いだ女性からの記念の贈り物として意味づけました。

私は、いつもある女性のことを思い出します。彼女は、大変料理の上手な、韓国人のクリスチャンでした。私の家族の誰かの誕生日が来るたびに、彼女は特別な材料を持って来て、私たちの台所にある道具を使って、私たちにご馳走をふるまってくれました。

私たちが永遠に韓国を離れる日が近づいた時、彼女は最後の食事のために、彼女の家を招いてくれました。彼女はハンカチで頭を覆い、韓国の伝統ドレスを着て、私たちを彼女の小さな家の玄関で出迎えてくれました。その食事は伝統の宮廷料理だったので、私はどのくらいお金がかかったのかということしか考えることが出来ませんでした。彼女はその料理を作るお金で、彼女の家族全員を一か月養うことが出来たでしょう。いたい彼女はそのお金をどこから出してきたのでしょうか。

私たちが去ろうとした時、彼女は私たちに深々とおじぎをしました。そして、彼女の頭の上にあるハンカチが落ちたのです。私はその時、どこからそのお金が来たのかが分かりました。彼女は私たちへの食事を作るために、彼女のその髪の毛を売ったのでした。私はそれほど犠牲に値するものではないのですが、彼女のその思いに大変感謝するばかりです。そして、きっと忘れることはないでしょう。

讃美歌

321

祈り 愛なるお父様。どうか私の人生があなたにとって記念すべきものとなりますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ジョイス・ハーディン
テキサス州 オースティン

10月2日(木)

キリストとしての神

聖書朗読 マタイ 27:27～44

神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方であって、神の義となるためです。
Ⅱコリント 5:21

ピラトの官邸で、唯一の王であるイエス様は、人々に嘲笑されるのです。とてもむごい殴打の後、兵士たちは冠を受けた王として、イエス様に屈辱を味あわせました。クレネ人のサイモンは、イエス様の十字架の梁を担ぐように命令されました。二人の囚人は主を罵りました。通りすがりの者たちも主を冒瀆し、あざ笑いました。ある祭司長、律法学者、長老たちも主をばかにしました。イエス様は、友達、家族、弟子、そして、改心した者たちさえにも見捨てられ、たった一人で苦しみを乗り越えられました。神様でさえもイエス様を見捨てられたかのようでした。言い換えれば、皮肉やあざけりがそこには蔓延していたのです。

しかし、神様は、その全ての困難の中でさえも、イエス様と一緒におられたのです。神様が不当な世の中のためになされていることを証明するために、まもなくその地はゆらぐことになるでしょう。神様は御子イエスと共に、苦しまれているのです。贖いと救いは、十字架上でこの瞬間に成就するのです。

十字架の上

私の目で時々、見ることが出来る。

私の罪のために

死なれたお方。

私の心を強く打ち、涙と共に、

そこには、二つの素晴らしい残る。

神様の偉大な愛。

そして、私自身の価値の無さ。

——— E. C. クレファン

讃美歌 136

祈り 聖なるお父様。私の願いを聞いてください。私があなたの愛と慈しみの啓示のための十字架に目をいつも留めることが出来ますように。
キリストの名前によって。アーメン。

ロナルド・L・タイラー

カリフォルニア州 キアマリロ

10月3日(金)

恐れるな！

聖書朗読 マタイ 28:5～20

御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに來たのです。」
ルカ 2:10

最近、夫と私は、御言葉を深く学んだり、世界中もしくは私たちの近所への宣教活動を共にしようとする集まりに参加するようになりました。

時々、私たちは恐れおののきます。しかし、私たちはその御使いが2人のマリアに、「恐れることはありません」と言ったことを知っています。また、その御使いは、「早く行きなさい」と言い、神様の弟子たちにイエス様がよみがえられたことを告げました。恐れと喜びにあふれながら、女性たちはすぐに従いました。そこに着くと、イエス様が現れ、そして「喜びなさい」と言われました。そして、「行って、弟子たちに伝えなさい」と指示されました、さらに読み進めると、イエス様は大宣教命令を下されます。「行って、全ての国民を弟子としなさい」と。イエス様がよみがえられた後、多くのことが次々と起こりました。すばやく事が起こるたびに、愛、感謝の念、素晴らしい喜びが起こされました。

そんなに急速に私たちの心にやる気を起こさせるものは何でしょう？ 愛、感謝の気持ち、そして偉大な喜びですか？ 私たちを押さえ込むものは何でしょう？ 恐れですか？ 私は1日1聖句、365日恐れに関する聖句を読みました。恐れるなということは、何度も何度も、私たちの心に勇気を与えてくれます。私たちが、学び、奉仕し、福音を伝え、分け合う時、私たちは、愛と信頼と共に、恐れと闘うことが出来るのです。『愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。なぜなら恐れには刑罰が伴っているからです。恐れる者の愛は、全きものとなっていないのです。』（Iヨハネ 4:18）。神と共に出て行きなさい。神様はあなたと共に行かれます。

讃美歌 483

祈り 聖なるお父様。どうか私たちの心を信仰と感謝の気持ちで満たしてください。どうか、あなたへの愛で私たちの恐れを取り除いてください。
イエス様の御名を通して。アーメン。

キャロル・ローデス

コロラド州 ピュエブロ

10月4日(土)

醜い木

聖書朗読 マルコ 5:35～43

イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、
死んでも生きるのです。」ヨハネ 11:25

ドイツのハイデルベルグの古城の中庭に一つの木が立っています。もちろん、その古城と町並みは本当に美しいのですが、それ以上に、この木は私たちの目を釘付けにします。通りの景観にとっては、それは目障りになるかもしれません。その木は、地面から元の幹の半分しかないのです。まるで雷がその木に落ちて、真っ二つに上から下まで裂いてしまったようにも見えます。その芯は空洞になっています。

何がいったい特別なのか？ それは、その木から本当にたくさんの小さな小枝が生えていて、その一つ一つに葉が萌え出ているのです。その木は生きているかも全く分からず、死んでいるかの様であるにもかかわらず、実はその木は生きていて、新しい命を生み出すものだったのです。

ヤイロの家では、彼の幼い娘が死んでしまい、横たえられていました。しかし、イエス様は「その子は死んでいるではありません。ただ眠っているだけです」と告げられました。そこにいた人々はイエス様をあざ笑いましたが、イエス様はその幼子の手を取って、起き上がるように言いました。

私たちの周辺では何を見るでしょう？ 希望が失望に変わった時でさえ、イエス様が希望は終わったのではなく、ただ何もまだ始まっていないのだと言われたことを疑ってはいけません。イエス様は「立ち上がれ！」と言われたのです。そして、もし私たちが主の声を聞いた時、私たちはよみがえるのです。

なんとという素晴らしい木でしょう。

讃美歌 156

祈り お父様。どうかあなたの視点を持って、私たちの周りにあるものを見ることが出来るようにしてください。この世の視点で失望したり、死ぬことを恐れたりしないように、助けてください。あなたにある希望と生ける命に目を留めることが出来ますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ナンシー・ペイカー

テキサス州 アビリン

10月6日(日)

私を救い出された主

聖書朗読 マルコ 7:14～23

また言われた。「人から出るもの、これが、人を汚すのです。」

マルコ 7:20

優等生名簿、つまりそれはとてもうれしいことです。私はマルコの福音書を開き、そして、ある一つのリストを見ました（良いものではないのですが）。そして、私は驚きます。それをもう一度ゆっくり読んでみます。あーあ、やっぱり。私の名前が載っています。一度ではなく、しかも何度も何度も。しかも太い黒字で。どうしてかって？ イエス様は、それは私の心、自分の欲望に仕える心のせいだと言われます。

創世記3章で、それはエバの話から始まります。彼女は神様だけに満足するのではなく、もっともっとそれ以上に欲しました。彼女は見て、欲しがり、取り、食べ、その結果、罪がこの世に入ってしまったのです。私自身もそうです。私も、見て、欲しがり、取って、それで私の名前が、マルコの福音書7章に載っています。

なんと惨めなことでしょう。この邪悪な名簿から私の名前を消してくださるお方は誰でしょう。そうです。それは、イエス・キリスト様です。イエス様は、常に私を私自身の罪から救い出してくださるのです。なぜなら私はイエス様のもので、その罪にまみれた名簿は、太く、主の赤い血で書かれたもう一つの名簿に取って代わられるのです。

私は、羞恥心と喜びと共に主の足元にひれ伏します。私は、主に私の心を変えてくださるようお願いします。神様は、私の名前をご自分の名簿に載せてくださったのです。なんとという喜びでしょう。

讃美歌 332

祈り なんと素晴らしいお父様。私の名前が、命の本に刻まれるために、あなたの御子を送ってくださったことを感謝します。

主の御名を通して、そして、主のために私は祈ります。アーメン。

ダナ・メレネス

テキサス州 ヴィクトリア